

げてよし、大根ふろし、薄醤油をへて出す、其割合豆腐の量、七十匁に、かたくり粉、二十五匁にてよし。

家庭に於ける所感(承前)

長野縣 飯塚忠次郎

一寸例を引いて御話致さうなら、世間幾多の母親は自分の不注意は皆なたなにあげて『うちの子供のらんばうで、云ふことをきかないのにはこまります』と、來客の婦人達などに愚痴のやうな愛相のやうな事をいふてをいでのあるが、自分の子の行爲がわるいと、とりながらも、之がたんせいに心を用ひなさらぬようだ、自分の子供の悪い方にむくのを知つてゐながら、しらぬふうをよそをしてをらるるのは、あまり無責任では御座いません

ですか、又母親の態度としてそれでよろしいものでしようか、それでは實に子供こそとんださいなんで御座います、來客婦人達の方でも、よう御座いますは、おこさん方はれあばれになるやうでなくては、いけませんです』なぞと、如何にも一寸きくと耳ざわりがよく道理の様にも思へられるが僕の考へではよしやわるい氣でいふたのでなくとも、多少物事のわかつた婦人が其様な事を口に出すのは最も悪いことであろうと考へる、もし其様な談話中に小兒が居たらどうでせうか、『ふばさんがわいふのだもの、構うもんか』といふかもしがれぬ、此様なことをいふのは子供の惡習を増進させれるのみで、却てその火のてを盛んにさせる様なもので御座います、數多い中とて綿密なる觀察力と周到なる深慮とを具備しておられる婦入ばかり

とも限らないから、大抵は其良否を考へないで口からでもかせたゞ小兒のきにいるような事ばかりいふてゐられる傾きもある、來客婦人の罪もまた大ではありますか、儲てそれから斯る場合に於ける母親の態度はといふと笑を集めてきいてゐると云ふ始末實に驚くにたへないので、斯の如き

ようになつてくるのはあきらかで、こんな教へをうけた小兒がどう致して善良な美しい品性と人格に進むことができましようや、如何で御座ますか、歸する所は母たる人の罪が多いかと存じます、こゝをみてもかへすがへすもゆるかせにしてはなりませぬ。

何故に子供は父親の命令禁止に服従するかそれは厳格であまり口やかましくないからである、之に反して母親は口やかましいばかりか見付次第、手當次第、方便主義一點張りを以てするからです、たとへ家事に多忙だとはいへ先に命令禁止した事を後になつてゆるしてみたり、前に命令禁止しなかつたことを急にいひつけてみたり、それはそれは殆ど秩序と云ふものが無い謂ゆる混亂的であるからです、ロックといふ教育家のいつたことがあ悲しいことには強迫的教育を行はなければならぬ

る、『子供には成だけ守らせなければならぬだけの規則を興へて簡単に過ぎても煩雜に過ぎてもならぬ』とそれから又ボルマンといふ學者は『一般に父の命することは母の命することよりも子供が從ふものである、その理由は父の命することは簡単であるが母は饒舌り過ぎるからであらう』と、これ一理ある説であります、地体母親の御饒舌は兎角其見識を下げるもので、言の少い方がどことなくふくゆかしく見える、小兒はガミガミ云ふたからとして決して服従するものではない、適切なる教育と嚴格なる態度がなくてはだめである。

父親や母親は申すまでもないが家人も共に命令禁止の意が同一でなければなりません、そうでないと父親の命令禁止した事を母親がゆるしてみたり母親がゆるして置いた事を父親が禁止したりする

と、なかにたつた子供は大にこまる、どちらに従つて善ひやらわからなくなりますのみか未だ完全に發育せぬ幼稚な脳に一つの大疑問を興へると終には不治の病を惹起する基となりますゆへ、餘程注意が肝要で御座います、命令禁止をするには決して虚言を吐いてはなりません、普通多くの家庭でまいまいみかけることで『おとなにしないとをまはりさんが來るの、狐がたべにくるの』とそれは色々な事を一時の方便からしていふは最もわるいことでこの様なさゝいなことでも後になつて子供の發育をさまたげることがすくなくないのは事實であります、そんな事はあろふはずがないので御座いますからついに巡查も來なければ狐もこない、子供の智識が未だそれ程にまで發達しない幼稚な時代なら幾分か云ふことをきくかもしけ

んが、をいをい發育して、いまゝでのことがうそであると悟つたあかつきにはもうなにをいふたからとてきくものでないことはめにみえてるお話でとうとう子供も見様みまねで虚言はわるいこと、知りつゝも吐く様になる、之は丁度親達が虚言の手本を示す様なものですからよく注意して命令禁止を執行せねばなりません(未完)

世界最高齢婦人の死去

去る八月六日亞米利加ミードビルの郊外ケルタウンにて死去せるマーフヒー夫人といへるは、其年實に百三十四歳なりし由なるが同人は千七百七十年クリスマス當日アイルランドに生れ、一百歳の時に渡米せしものなりしと云ふ。

大阪みやげ (つらぎ)

東 牧 羊

島の市街。曰く中の島、曰く堂島、曰く松島、曰く江の子島、大阪には實に島といふものが多いでなく、大阪全市は全く島から出来て居るといつて宜い、淀川を中心として、縦横十文字に通じた溝渠は、橋から橋を渡つて往來すべく出來て居て、從

